

報道関係者各位 2017年9月1日

第6回 大東建託 賃貸住宅コンペ テーマ:『既存価値を上げる賃貸住宅一豊島区編一』9月1日より募集を開始

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、今年で6回目となる「賃貸住宅コンペ」(以下、本コンペ)を開催します。今年のテーマは「既存価値を上げる賃貸住宅一豊島区編一」、サブテーマは「敷地の広さ500㎡に10~15戸の賃貸、新たな価値とは」としました。作品の募集期間は2017年9月1日(金)から2018年1月10日(水)です。審査委員は、千葉学氏、赤松佳珠子氏、横川正紀氏、馬場正尊氏、当社常務取締役の小林克満が務めます。また、一般部門と新たな募集部門である指名大学部門※1それぞれの最優秀賞作品には、賞金200万円が贈られます。

※1 指名大学部門:大学の研究室の学生を対象に、新たな「賃貸住宅」について「賃貸」のスキームを含めた提案をしていただくために設けた募集部門

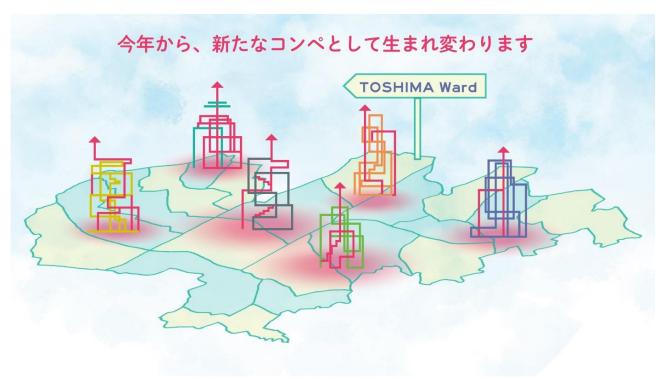
■今年から、新たなコンペとして生まれ変わります

本コンペは2012年より開催され、これまで「新たな賃貸住宅」のカタチを応募者のみなさまからご提案いただきました。6回目の開催となる今年は、「賃貸住宅」の次のステップに向かうため、本コンペをリニューアルいたします。「集合住宅」という空間の形だけではなく、「賃貸住宅」のビジネススキームにも焦点を当て、居住するための空間と賃貸というソフトを連携させた「新たな賃貸住宅」の提案をしていただきます。

リニューアル初年である今年は、池袋周辺の文化施設や商業エリア、都電荒川線が走るエリアなど、さまざまな地域に特徴がある豊島区全域を本コンペにおける賃貸住宅の建築対象エリアとします。豊島区は2014年に日本創成会議によって23区唯一の消滅可能性都市※2として挙げられました。将来、消滅する可能性を指摘された地域の社会問題を発見し、解決できうる「賃貸住宅」のあり方を考えていただきます。

住む人のためだけの空間作りではなく、土地を所有する人の土地活用や生活設計等、様々な事業性も視野に入れ、付加価値を上げることができる新たな「賃貸住宅」の提案を期待しています。

※2 消滅可能性都市:2040年までに20~39歳の若年女性の人口が2010年国勢調査比から50%以上減少すると言われた自治体



【第6回 大東建託 賃貸住宅コンペ メインビジュアル】

■新たな募集部門として指名大学部門を追加

大学の研究室の学生のみなさまに、社会問題のリサーチを含めたより具体的な提案をしていただくため、新たな募集部門として指名大学部門を設けました。本年は、首都圏の大学で、建築のほか、社会・都市・地域との関わりを多岐にわたり取り組む研究室の中から、6つの研究室を指名します。

※2017年指名大学研究室:神奈川大学(曽我部昌史研究室)、芝浦工業大学(原田真宏研究室)、 東京工業大学(安田幸一研究室)、日本女子大学(篠原聡子研究室)、

日本大学(古澤大輔研究室)、早稲田大学(古谷誠章研究室)

■第6回 大東建託 賃貸住宅コンペ概要

・課題 既存価値を上げる賃貸住宅一豊島区編ー

敷地の広さ500㎡に10~15戸の賃貸, 新たな価値とは

·提出物 【一般部門】

A2サイズ(420mm×594mm、片面横使い1枚) 立体(突起物や凹凸)、額装、パネル化は不可

·賞金 【一般部門】

 ・最優秀賞(1点)
 200万円
 ・最優秀賞(1点)
 200万円

 ・優秀賞(2点)
 各50万円
 ・優秀賞(2点)
 各50万円

· 佳作(4点) 各10万円 · 学生特別賞(4点) 各5万円

・スケジュール【一般部門】 【指名大学部門】

 2017年9月 1日 応募登録開始
 2018年3月 3日 公開審査会

 2018年1月10日 登録·作品提出締切
 2018年3月31日 結果発表

2018年3月 3日 最優秀賞と優秀賞の提案発表

表彰式

2018年3月31日 結果発表

·審查委員 千葉 学 (千葉学建築計画事務所/東京大学大学院教授/審査委員長)

赤松 佳珠子(C+Aパートナー/法政大学教授)

横川 正紀 (WELCOME Group代表)

馬場 正尊 (Open A代表/東北芸術工科大学教授/ゲスト審査委員) 小林 克満 (大東建託株式会社 常務取締役) ※敬称略



千葉学氏



赤松佳珠子氏



横川正紀氏



【指名大学部門】

馬場正尊氏



計:6研究室

大東建託·小林克満

·主催 大東建託株式会社

·後援 株式会社新建築社

·公式サイトURL http://www.japan-architect.co.jp/kentaku/

